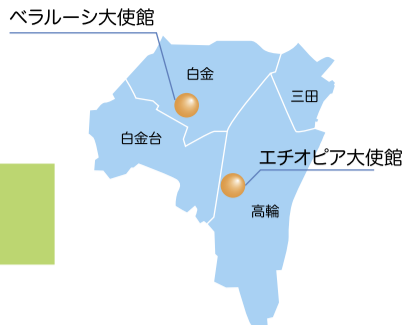


# 大使館探検隊



前号に引き続き大使館を探検しました。  
 今回は、東ヨーロッパのベラルーシ大使館とアフリカのエチオピア大使館です。  
 ベラルーシは独立して20年足らずの新しい国で、エチオピアは建国が紀元前10世紀頃の歴史ある国です。  
 今年の世界陸上では、エチオピアは5000mや10000mの長距離走で、  
 ベラルーシは砲丸投げやハンマー投げの投てき競技で男女とも大活躍しました。



面積：20万7,600km<sup>2</sup> (日本の約半分)  
 人口：975万人  
 首都：ミンスク  
 言語：公用語はベラルーシ語（東スラヴ諸語の一つでロシア語に近い）。但し、ロシア語も広く普及しており、準公用語。  
 (外務省ホームページ)  
 大使館  
 港区白金4-14-12 白金Kハウス  
 ☎03-3448-1623

## ベラルーシ共和国 大使館 Republic of Belarus

白金にあるベラルーシ大使館を訪れました。  
 三光坂の中程を曲ったところにある落ち着いた建物の外観からは、独立までの度重なる困難があったことなど微塵も感じることはできません。  
 お話は、チェレンチェフ・セルゲイ一等書記官に伺いました。

### チェルノブイリ原発事故

私達の記憶にあるのは21年前のウクライナ・チェルノブイリ原発事故です。被害は隣国のベラルーシにまで及び、多くの子供達も甲状腺を侵されました。  
 これを機に、日本のNPO・NGOの様々な支援が始まり、現在に至っていることに大変感謝をされています。  
 国に桜の木も植えられ、毎年、春の訪れと共に花を咲かせています。

### 世界で活躍する有名人

ベラルーシ出身で世界的に活躍されている方々のお話を伺うと、まず第一に、画家であり、数多くの版画を残しているマルク・シャガールがそうであることに、彼の初期の作品を思いうかべ納得しました。世界に広がった彼の作品を自国に戻す計画が進められているそうです。  
 スポーツでは、テニスのマリア・シャラポワ選手のご両親がベラルーシ出身であることにも驚き、だんだんベラルーシが身近に感じられてきました。  
 お家芸でもあるバレエ界では、現在2名の日本人バレリーナが首都ミンスクの劇場に出演しているそうです。



▲水と緑に囲まれた街並▶



セルゲイ一等書記官

### 子育て

子育てについて、日本と違いがあるか伺ってみました所、近年、女性の社会参加が盛んになり、日本と同じく父親も育児に協力するようになったことや、夏休みになると子供達は郊外の祖父母の家で長期間自然を満喫するのが常になっているとのことでした。

### イクラは共通語？

何か日本と似ていると感じた所でも一つみつけました。  
 郷土料理のドラニキ（じゃがいものパンケーキ）やサロ（豚の脂身の刺身）の話をお聞きしているときに「イクラ・イクラも」とおっしゃいました。「サケの卵ですか」とお尋ねすると、ベラルーシでは、魚の卵全部を「イクラ」と呼ぶのだそうです。  
 馴染みのない遠い国だと思っていた私が取材を終えお礼を述べる頃には、ベラルーシ通になり、ウキウキした帰り道でありました。



民族衣装▶



◀ベラルーシ大使館